

リンゴ早生種 ‘あおり9（彩香）’

研究のねらい

‘祝’、‘旭’に替わる早生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由：食味が良く、省力性、病害抵抗性を備えた早生品種として選抜された。

組み合わせ：‘あかね’×‘王林’

交 配 年 次：1977年（昭和52年）

登 録 年 次：2001年（平成13年）3月

樹 の 性 質：樹姿は中間型で、樹勢は若木では強いが、成り込んでくると衰弱気味となる。

花芽の着生が良く、短果枝が多い。生態が早く、開花日は‘王林’より1日程度早い。3倍体品種であるため、授粉用花粉としては利用できない。霜害を受けやすいため、霜害の発生しやすい所では対策が必要である。側果が自然に落ちやすい自家摘果性があり、落花20日後頃にはほとんどの果そうが1つ成りや2つ成りの状態になる。斑点落葉病、黒星病には‘ふじ’より強く、赤星病には感染しない。

収 穫 時 期：9月下旬。収穫前落果はみられない。

果 実 特 性：果実の大きさは300g程度。果皮色は鮮紅色で全面に良く着色する。果形は円～長円形であるが、玉揃いは不良である。全般につるが短いため、玉回しが難しい。果肉の色は白色である。肉質はややち密で果汁が非常に多い。蜜の発生はわずかであるが、年によって外蜜がみられる。食味はやや酸味を感じるが、甘酸適和である。貯蔵は常温で10日間、冷蔵で1か月ほどである。

そ の 他：‘あおり9’の果実には、商標登録名の‘彩香’（さいか）を使用するが、‘彩香’は生果実の販売に限って使用が認められており、苗木及びジュース、ジャムなどの加工品については‘あおり9’を使用することになっている。



あおり9（彩香）の果実



自家摘果性

側果は果梗が黄変後、落果し、1～2つ成り状態となる。(6月上旬)



結実状況

発表資料

1. 育種部 (1998). りんご育成系統「青り9号」の特性. 平成10年度指導奨励事項・指導参考資料: 72-73.
2. 今 智之 (1997). りんご試育成系統「青り9号」の特性. 季刊りんご技術 55: 23-25.
3. 今 智之 (1998). りんご試「青り9号」の特性. あおもり農業 49 (11): 60-62.